
戦後空間シンポジウム 02

技術・政策・産業化 -1960 年代 住宅の現実と可能性-

主催：日本建築学会 建築歴史・意匠委員会

日時：2019 年 1 月 14 日（月）13:30～17:00

会場：建築会館会議室（東京都港区芝 5-26-20 建築会館 3 階）

<主 旨>

本シンポジウムは、建築歴史・意匠委員会の戦後空間 WG が企画するものです。

第 2 回シンポジウムは「技術・政策・産業化」という構成で 1960 年代を考えます。例えば、岩波新書版「日本の近現代史（全 10 巻）」の 1960 年代に焦点を当てた第 8 巻、武田晴人著「高度成長」で、建築に関する記述は、唯一、第 2 章での nLDK という概念の成立と団地の登場です。この点は、高校の日本史の教科書でも同様です。1960 年代、建築と社会は、住宅で結ばれていたというのが近現代史の側の見解です。そこで、1960 年代の住宅を、技術・政策の両面から分析しつつ、今日、産業と呼ばれる迄に成長したこの分野が、いまだ可能性であった時代の住宅の現実を振り返りたいと思います。

<プログラム>

- | | |
|-----------------|------------------------------|
| 1. 開会挨拶 | 松田法子（戦後空間 WG 主査／京都府立大学） |
| 2. 「第 2 回」開催の趣旨 | 内田祥士（東洋大学） |
| 3. 「技術」 | 松村秀一（東京大学） |
| —休憩— | |
| 4. 「政策」 | 平山洋介（神戸大学） |
| 5. コメント | 祐成保志（東京大学） 磯 達雄（フリックスタジオ） |
| 6. 質疑応答 | |
| 7. 振り返って | 内田祥士（前掲） |
| 8. 閉会 | |

参加費：会員 1,500 円、会員外 2,000 円、学生 1,000 円（当日会場でお支払いください）

定員：70 名（申し込み先着順）

申込方法：Web 申し込み <https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=615520> よりお申し込みください

問合せ：日本建築学会事務局 事業グループ 一ノ瀬 TEL：03-3456-2051 E-mail：ichinose@aij.or.jp